取扱説明書 ― 保管用

yamada

リニア調光LEDペンダント(ダクトタイプ)
(ライティングダクト専用)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	光源ユニット	適合電圧
PD-2555-L PD-2557-L PD-2559-L	WW-2002L （ワイド配光・電球色）	AC100V （±6%）

※1 回路の最大接続台数は20 台までです。20 台を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて

⚠**警告**　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠**注意**　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

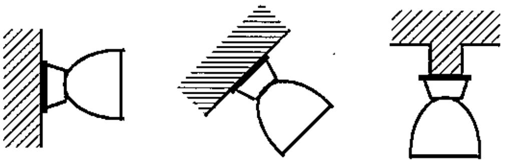
●取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。

次のような場所には取付けないでください。（右図）
●ライティングダクトがついている天井面以外の場所
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。



壁　面　　傾斜した場所　　不安定な場所

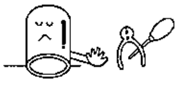
この器具はライティングダクト取付専用です。
天井面の丈夫な所に取り付けてください。傾斜天井・壁面等には取り付けないで下さい。
★指定以外の取付を行なうと、器具落下による「けが」の原因となります。

ダクトプラグの一部が欠けていたり、ヒビが入っている場合には絶対に使用しないで下さい。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。

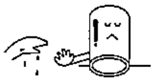
ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。



⚠注意

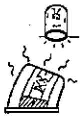
照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧（100V）以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、LEDユニット寿命短縮の原因となります。

⚠注 意（前項続き）

⃠ 調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。（次項を参照して下さい。）
★不良点灯や調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。

⃠ 
温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

⃠ カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⃠
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
★火傷の原因となります。

❗ 同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。

❗ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。

❗ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。

調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

調光器	調光器品番	1 回路当たりの接続数	インターフェース ※1
ﾎｰﾑﾜｰｸｽ用ﾏｴｽﾄﾛ (LUTRON 社)	HWD-4NE-JA-	1～ 8 台（調光器 1 台に対して）	LUT-LBX-JA
		9～20 台（調光器 1 台に対して）	不要
ｸﾞﾗﾌｨｯｸｱｲ QS (LUTRON 社)	QSG-*P-100-	1～20 台（1ゾーンに対して）	LUT-LBX-JA
ｸﾞﾗﾌｨｯｸｱｲ 3000 (LUTRON 社)	GRX-310*-T-JA-	1～20 台（1ゾーンに対して）	LUT-LBX-JA
調光盤 (LUTRON 社)	JDP-**・GP-4	1～ 8 台（1 回路に対して）	LUT-LBX-JA
		9～20 台（1 回路に対して）	不要

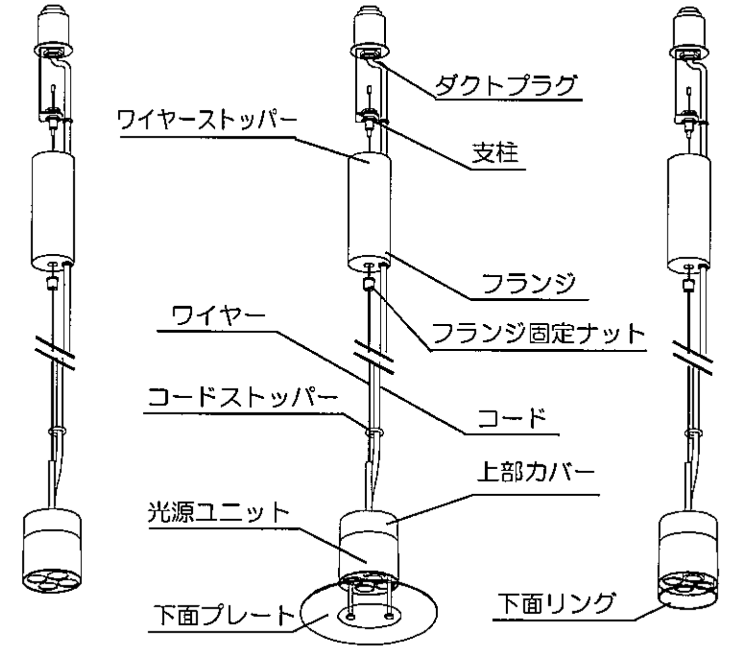
※ 1 インターフェースが必要な場合は1 回路に1 台を必ず接続して下さい。
LUT-LBX-JA：低負荷容量インターフェイス

★ 調光器との接続方法につきましては別途ご相談下さい。
★ 電源を入れても点灯していない様に感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をして下さい。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



PD-2555　PD-2557　PD-2559

【付 属 品】

取扱説明書（本書） ・・・・・1 枚

保証とアフターサービスについて（別紙） ・・・・・1 枚

●PD-2557のみ

下面プレート ・・・・・1 枚

アクリルワッシャー ・・・・・2 個

プレート取付ネジ ・・・・・2 個

取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ 器具取り付けは、重量の絶えるところに説明書に従い行って下さい。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災・感電事故の原因となる事があります。

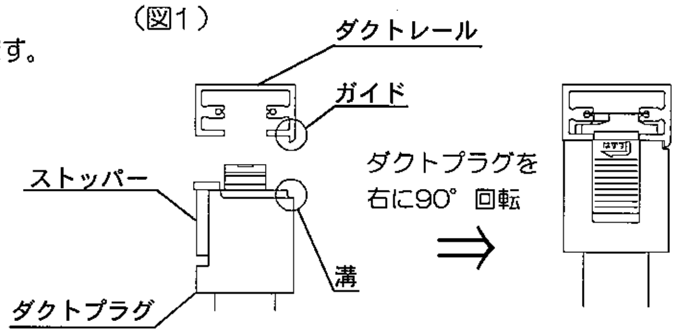
取り付け方

⚠ **注 意** ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●器具を取り付ける前に
フランジ固定ナットを緩め、フランジをホルダーの方へおろします。

1．器具を取り付けます。（図１）
①ライティングダクトへダクトプラグを取り付けます。
②ダクトレールのガイドにプラグの溝を合わせて差込み、プラグを９０°回して取り付けます。
この時、ストッパーがライティングダクトに確実にはまっている事を確認して下さい。

（図1）

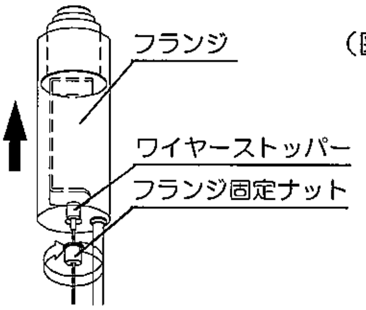


⚠ 注意

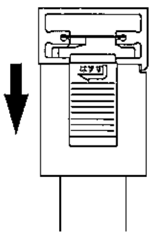
ダクトプラグは取付ける方向が決まっています。方向を確認して無理に取り付けないで下さい。
★ダクトプラグ、ダクトレールの破損、器具落下の原因となります。

2．フランジを固定します。（図２）
●フランジの穴をワイヤーストッパーに合わせてはめ込み、フランジ固定ナットを締めフランジを固定します。

（図2）



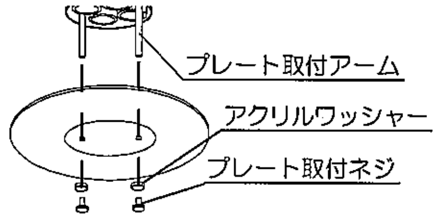
（図３）



3．器具の吊り下げ高さを調整します。
●詳しくは「吊り下げ高さの調整」の項目を参照下さい。

⚠ 注 意

❗ **器具を取り外す場合は以下の手順で行ってください。**
①フランジ固定ナットを緩め、フランジを光源ユニットの方へおろします。
②ダクトプラグのストッパーを押し下げながら、左へ90°回転させてください。
★無理な取外し方法は感電事故の原因となります。



●ＰＤ－２５５７は下面プレートをプレート取付ネジで取り付けアームに固定して下さい。
（消し面が上部になります）

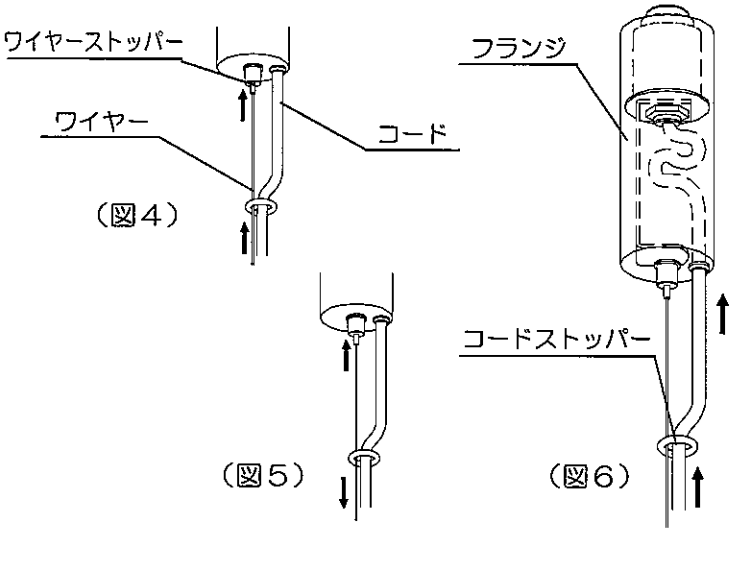
吊り下げ高さの調整

⚠ **注 意** ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●ワイヤーストッパーの調節の仕方
ａ）短くする場合（図４）
①ワイヤーストッパーの先端部分を押し上げながらストッパーの中にワイヤー線を真直ぐに押し込みます。
②適当な位置で先端部を離すと固定されます。

ｂ）長くする場合（図５）
①ワイヤーストッパーの先端部分を押し上げながらストッパーの中にワイヤー線を真下に引き出します。
②適当な位置で先端部を離すと固定されます。

●コードの調節の仕方（図６）
フランジの中へコードを真直ぐに押し込みます。
コードの長さに合わせてコードストッパーを適当な位置に移動しコードの遊びを調整してください。



（図４）（図５）（図６）

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠ 注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

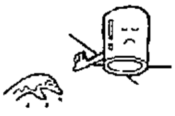
●1年に1回はお手入れを行い異常が無いか点検をして下さい。
　また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼して下さい。
★点検を行なわずに長時間使用し続けますと、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
●こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
　　　　　　　　定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●光源ユニットは乱暴に扱わないでください。
★光源ユニットの故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
★カバーの破損、落下の原因となります。

●スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

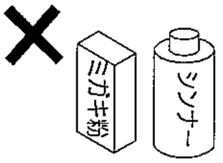


◆光源ユニットの交換

⚠ 注意 ❗ 本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換する事ができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。